

## 令和8年度 事業計画

本県のスポーツ振興を総合的に推進する団体として、加盟団体などと連携・協働のもと、県民一人ひとりが生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、楽しむことで、ウェルビーイングが高められるように次の各種事業を行うものとする。

### I 法人運営

#### (1) 諸会議等の開催（予定）

会議名		主要議題
理事会		事業計画・予算、事業報告・決算、役員の推薦 表彰者の決定 ほか
評議員会		事業報告・決算、役員を選任 ほか
専門委員会	総務委員会	事業計画・予算、事業報告・決算、役員を選考、表彰者の選考 ほか
	普及委員会	地域スポーツの普及・振興事業、スポーツ指導者の育成 ほか
	強化委員会	強化事業（強化費の配分）、未来のアスリート発掘事業 ほか
	スポーツ医・科学委員会	国民スポーツ大会選手への医・科学サポート、アンチ・ドーピングの啓発 ほか
	倫理・コンプライアンス委員会	倫理に関する事 こと コンプライアンスに関する事 こと ほか
特別委員会	国民スポーツ大会 出場選手選考委員会	国民スポーツ大会へ富山県を代表して出場する選手等の選考

#### (2) 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を表彰する。

事業名	対象者
特別表彰	加盟団体からの推薦 など
国スポ表彰	加盟団体からの推薦 など
感謝状	加盟団体からの推薦 など

#### (3) 組織運営の健全性の確保

顧問弁護士及び顧問税理士から日常的に専門的な助言等を受け、スポーツ団体ガバナンス

スコードを踏まえたコンプライアンスの徹底とリスク管理を強化し、より健全な組織運営に努める。

#### (4) 創立 100 周年記念事業への準備

令和 10 年 11 月の創立 100 周年を見据え、6 月準備委員会を設置し、記念事業等の検討をすすめる。

## II 公益目的事業

### 1 スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開する。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する本会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行う。なお、スポーツの現場における「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など、安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為（スポーツ・ハラスメント）の根絶に向け、本会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図る。

#### (1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

##### ① スポーツに関する広報啓発事業

スポーツに関する情報を広く県民に周知するため、各種広報誌に加え、ホームページや SNS によるソーシャルメディアを積極的に活用するとともに、だれでも必要な情報等をリアルタイムに簡単に検索・取得できるよう努める。

##### ア 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	備 考	発行元
スポ協 TOYAMA	2,000 部/回	加盟団体、体育施設、市町村教育委員会ほか	年 1 回発行	県スポーツ協会
スポーツパレス 便り	1,000 部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年 6 回発行	県総合体育センター
ジムワールド	1,400 部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年 4 回発行	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	1,800 部/回	県立学校、近隣企業ほか	年 4 回発行	県高岡総合プール
スポーツリーダー とやま	1,100 部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年 1 回発行	県公認スポーツ指導者協議会

##### イ インターネットを利用した情報発信

(ア) 本会 HP を活用し、各種スポーツ情報（JISS や日本スポーツ協会等）や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等の情報を発信する。

(イ) 「とやまスポーツ情報ネットワーク（県総合体育センター）」との連携を図り、本県の各種スポーツ情報の充実を図る。

(ウ) SNS (Instagram、LINE 等) を活用し、リアルタイムな情報を、幅広く発信する。

ウ スポーツ安全保険の加入促進

活動中の傷害や損害賠償責任を広く補償するスポーツ安全保険への加入促進に引き続き取り組む。

② エンジョイスポーツサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図る。

③ 地域スポーツ推進事業

地域スポーツ団体（市町村体育・スポーツ協会、県生涯スポーツ協議会及び県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会など）関係者を対象に各種研修会・講習会を開催し、県民が生涯にわたり、それぞれの興味、関心、適正等に応じて、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図る。

〔事業内容〕

ア 地域スポーツ団体のスタッフや指導者を対象として研修会や情報交換会を実施し、活動・組織の充実を図る。

イ 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会や県生涯スポーツ協議会など、地域スポーツ団体が連携協力し、地域のスポーツ活動を一層推進する体制の整備を図る。

ウ 県内の総合型地域スポーツクラブのイベント紹介をはじめ、指導者登録システム「パスネットとやま」の運用など、県民の積極的なスポーツ活動に結びつくようなスポーツ情報の提供を図る。

エ 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の適切な手続きを行うとともに、関係機関・団体等と連携しながら、制度の円滑な運用に努める。

④ 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業（地域のスポーツ環境基盤強化）

子どもから高齢者、女性、障がい者など様々な地域住民のスポーツ機会を創出するとともに、地域課題の解決に向けた取組みを促進し、幅広いニーズに応えられる地域のスポーツ環境の基盤強化を支援する。

(2) 県民スポーツ大会開催事業

広く県内にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の向上を図り、併せて明るく豊かな県民生活の創造に寄与することを目的とする。

① 第79回富山県民スポーツ大会

	競技	期 日	場 所	参加予定者数
夏季	陸上競技ほか 計 42 競技	令和 8 年 4 月 1 日～ 9 月 30 日	富山県内一円	20,000 名

② 第80回富山県民スポーツ大会

	競 技	期 日	場 所	参加予定者数
冬 季	スケート	令和8年11月～12月	富山スケートセンターほか	30名
	アイスホッケー	令和8年10月～ 令和9年1月	富山スケートセンター	60名
	スキー	令和9年1月上旬 ～2月下旬	たいらスキー場 たいらカスカントリーコースほか	370名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催し、資格保持者の資質向上を図る。

ア 日本スポーツ協会公認コーチ養成講習会 専門科目

コーチ1 5競技

(ハンドボール、バレーボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン)

イ 富山県スポーツ指導者研修会

1コース(射水市)

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のこころとからだを育てる」、「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開する。

① 組織の充実

ア 組織の整備強化

市町村スポーツ少年団と緊密な連携を図るとともに、指導者協議会組織の充実に努める。

イ 活動の充実

競技別総合交流大会や地域ごとの交流大会を推進するなど、スポーツ活動に参加する機会を提供し、団及び団員の増加に努めるとともに、団活動を支援する母集団の強化に努める。

ウ スポーツ少年団の改革

日本スポーツ少年団から示されている「スポーツ少年団改革プラン2022」について、県内関係者にその方向性を提示するとともに、県内における対応を引き続き検討する。

② 指導体制の整備

ア 指導体制の整備

各種講習会・研修会の開催や全国的・地域的な講習会・研修会へ指導者を派遣し、指導者の資質向上を図る。

イ 指導者及びリーダーの養成確保

スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会やジュニア・リーダースクールの開催を通じて、指導者やリーダーの養成・確保に努める。また、スポーツ少年団指導者制度等の改定について、市町村スポーツ少年団等を通じ、関係者への周知に努め、新たな制度の円滑な普及を図る。

ウ 指導対応の啓発

スポーツ指導現場において、身体的・精神的暴力行為のない組織づくりを目指し、暴力根絶に向けた各種研修会などを開催する。

③ 交流活動の推進

ア 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流事業への参加を通じて、ドイツ団員との友好と親善を深め、国際スポーツ交流の推進に努める。

イ 全国的・地域的交流の推進

各種全国・ブロック交流大会への派遣を通じて、意欲的にスポーツ活動に取り組む団員の育成に努める。

ウ 総合型地域スポーツクラブとのかかわり

総合型地域スポーツクラブとの連携について情報交換を行い、相互理解を深める。

(5) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会運営事業

第3期スポーツ基本計画（文部科学省）に示されている総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用開始を受け、本会が中間支援組織の役割を担い、総合型地域スポーツクラブの公益性を地域社会に周知するとともに、地域課題の解決、各クラブの安定的な運営を目指し、各種事業を展開する。

① 組織の充実

登録クラブ・準登録クラブと緊密な連携を図るとともに、地域スポーツ環境の充実に努める。

② クラブ活動活性化の推進

継続的なクラブ運営に向けた研修会や各種広報活動等を実施する。

(6) 県民スポーツ機会の創出事業（「とやま週イチスポーツ推進事業」の開催、「Enjoy! スポーツとやま」の共同開催）

県民のスポーツ活動への参加を促進するため、県民がスポーツに親しむ機会を創出する。

① 運動やスポーツに親しむ機会の提供

体験型のスポーツイベントを開催し、日常的に運動やスポーツに取り組む機運や意欲を高める。

② 「Sport in Life」の実践

身近な地域において継続的に楽しく運動やスポーツに取り組めるスポーツプログラムを実施し、新たなスポーツ人口の掘り起こしや運動の習慣化を図る。

(7) アスリート（中学生年代等）の普及・強化事業

段階的に地域のスポーツ団体などが部活動を運営していく「部活動の地域展開」が実施されることを受け、各競技団体や市町村体育・スポーツ協会、市町村教育委員会等と地域展開への課題、解決策等を協議する情報交換会を開催する。

## 2 スポーツ強化推進事業

国民スポーツ大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与えるものである。滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会は62の入賞を果たし、総合得点790.0点、天皇杯40位となった。また、第80回国民スポーツ大会冬季大会では、青森県で開催されたスケート競技会・アイスホッケー競技会では3個の入賞、同県で開催されたスキー競技会では1つの優勝を含む8個の入賞を果たし、冬季大会総合22位と幸先のよい結果となった。

今後も国民スポーツ大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努める。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民スポーツ大会等開催事業

各都道府県を代表する選手が参加し、都道府県対抗で競技を行う国民スポーツ大会に出場する選手・監督等に対して被服を貸与するとともに、県本部団員等を派遣する事業を行う。

ア 第47回北信越スポーツ大会（長野県開催）

会 期	会 期 前 令和8年5月23日～8月16日 中心会期 令和8年8月21日～23日 会 期 後 令和8年8月28日～30日
会 場 地	長野県内 14市4町1村、福井県1市、富山県1市
実 施 競 技	サッカー競技ほか 計30競技
参加予定人数	選手・監督 3,500名 本部役員・顧問 100名 大会役員 400名 競技役員・補助員 4,000名 8,000名

イ 国民スポーツ大会

回	季		期 日	場 所	本県参加 予定者数
80	本大会	会期前Ⅰ	水泳競技ほか 計 13 競技 令和 8 年 9 月 3 日～13 日	青森県 ほか	450 名
		会期前Ⅱ	自転車競技 アーチェリー競技 令和 8 年 10 月 5 日～9 日		
		中心会期	陸上競技ほか 計 25 競技 令和 8 年 10 月 10 日～20 日		
81	冬季大会		スケート競技 (ショートトラック・フィギュア) 令和 9 年 2 月 5 日～10 日	山梨県	50 名
			スケート競技 (スピードスケート) 令和 9 年 1 月 26 日～30 日	岐阜県	
			アイスホッケー競技 令和 9 年 1 月 31 日～2 月 4 日	神奈川県	
			スキー競技 令和 9 年 2 月 18 日～21 日	岩手県	70 名

② 競技力向上事業

ア 国民スポーツ大会や国際大会へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招聘を計画的に実施する。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 38 競技 547 名 成年種別 41 競技 527 名 計 1,074 名

スタッフ指定：41 競技総監督 22 名 各種別監督 118 名 コーチ 81 名 計 221 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招聘事業

アドバイザーの招へいやトレーナーの配置により、国民スポーツ大会期間中及び合宿・遠征等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図る。

(エ) 選手強化対策補助事業

国民スポーツ大会等での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にする。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努める。

イ 将来に向けた優秀選手の育成

エリートユース育成事業

全国・世界の檜舞台で活躍できる次世代の選手を育成するため、中・高校生を対象に競技団体が主体（競技（種目）数の増）となり、県内の拠点スポーツ施設等を活用した効果的な活動（合宿・遠征、県外優秀チーム招へい、県外優秀指導者招へい）を実施する。

ウ アスリート（中学生年代等）の普及・強化事業 ※再掲

段階的に地域のスポーツ団体などが部活動を運営していく「部活動の地域展開」が実施されることを受け、各競技団体や市町村体育・スポーツ協会、市町村教育委員会等と地域展開への課題、解決策等を協議する情報交換会を開催する。

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行う。今後はこれまでの成果と課題をふまえ、事業の充実を図る。また、競技団体から推薦を受けた将来の活躍が期待される有望な小学5年生をジュニア指定者として参加させる。

ア プログラムの実施（令和8年度：21期生55名・ジュニア指定者6名）

(ア) 知的能力育成プログラム

（メンタルトレーニング・スポーツ栄養・スポーツ障害・コミュニケーション）

(イ) 身体能力育成プログラム

（コーディネーショントレーニング・コンディショニング・ファルトレクトレーニング・体力測定）

(ウ) 味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）の視察

屋内トレーニング場施設を見学し、アスリートに関するセミナー等を受講する。

イ 22期生・ジュニア指定者の募集・選考

【22期生】

(ア) 募 集

県内全小学5年生の児童を対象とし募集する。

(イ) 書類審査（1次選考）

公募児童を対象に書類選考を行う。

(ウ) 測定会（2次選考）

1次選考を通過した公募児童と競技団体推薦児童を対象に測定会を実施する。

(エ) 指定証交付

選考された指定児童50名程度に指定証を交付する。

【ジュニア指定者】

競技団体からの推薦を受けた小学4年生の児童について、書類審査にて10名程度選考し、指定証を交付する。

ウ 奨励賞の授与

修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた者に「奨励賞」を授与する。

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図る。

内容	競技数	回数	参加予定者数
記録・練習会	34 競技	70 回	12,000 名
教室	19 競技	30 回	8,000 名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育発達段階に応じた適切で、より効果的な医・科学的サポートを実施する。

また、監督はじめコーチ、スポーツドクター、トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医・科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組む。

県総合体育センター、県西部体育センター、県高岡総合プールと連携し、大会への専門スタッフの帯同を充実させるなど、更なるサポート体制の構築を目指す。

ア 委員会等の開催

- ・TOYAMAアスリートマルチサポート委員会（年2回）
- ・スタッフ（委員・トレーナー・競技団体指導者・県協協担当者）ミーティング（年2回）

イ サポート対象選手

強化指定選手、エリートユース育成事業生、富山県重点競技強化選手、オリンピック日本代表選手等

ウ サポート内容

- ・メディカルチェック、体力測定、トレーニング指導、栄養サポート、スポーツメンタルサポート、情報技術サポート、女性アスリートサポート、アンチ・ドーピング研修会、サポートスタッフ・中央講師の派遣、大会へのサポート、強化合宿・指導現場等へのサポート

エ スポーツ医・科学調査・研究

- ・県内大学、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）、他県との連携
- ・トップ選手の競技力調査
- ・各種講習会・研修会などへの参加

オ スポーツ情報

- ・報告書『HOW TO WIN』（年1回）
- ・情報誌『スポーツ医・科学的トレーニング情報』（年1回）の発行

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア アンチ・ドーピング教育・啓発

国民スポーツ大会選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、選手、保護者等を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進する。

イ 問診票による健康診断

県スポーツ協会が指定する強化指定選手及び国民スポーツ大会出場選手に対し、問診票による健康状態調査を実施する。さらに、女性アスリートの月経に関する問診を実施し、女性特有の健康問題に対してサポートを行う。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的スポーツ大会の開催運営費を補助する。

⑧ 海外派遣選手激励事業

国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督又はコーチを激励する。

⑨ スポーツ交流事業

スポーツを通じて、本県と他県又は他国との親善と友好をより一層深めるとともに、交流を通じて、本県のスポーツ振興を図ることを目的とする。

### 3 スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう、県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいつくりに寄与するため、次の各種事業を実施する。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業（県営・直営）

県営体育施設については、令和8年度から3年間、新たに指定管理者に選定され、従来からの取組みに加え、キャッシュレス決済の導入やSNSの積極的な活用により、利用者サービスの一層の向上を図る。

また、中学校部活動の地域展開に対応した体験会、子育て世代向けリフレッシュ教室、市教育委員会と連携した水泳教室など、地域課題に対応した事業も展開し、公共施設としての役割を果たす。

さらに、県総合体育センター、県西部体育センター、県高岡総合プールについては、競技力向上の中核拠点として、体力測定システムを共同活用するとともに、HPSCとのデータ共有を進め、選手一人ひとりに応じたトレーニング指導を展開する。また、富山スポーツコミッションとも連携し、各種大会や合宿の誘致を進め、スポーツ関係人口の創出と地域活性化に取り組む。

本会が保有する屋内相撲練習場については、富山県武道館の整備に合わせて、令和8年度中に改修工事の基本設計に取り組む。

なお、県条例の一部改正に伴い、令和8年7月から、本会が管理する施設の利用料金を改正する。

ア 指定管理体育施設の管理運営

(県営) 6施設【指定期間3年：令和8年4月1日～令和11年3月31日】

施設名		
富山県総合体育センター	富山県西部体育センター	富山県高岡総合プール
県営富山弓道場	富山県漕艇場	富山県上市カヌー競技場

イ 県スポ協スポーツ施設の管理運営  
(直営) 3施設

施設名		
アオイスportsハウス	山野Sportsセンター	屋内相撲練習場

(2) 各種Sports教室開催事業

各種Sports教室等各を開催することにより、Sportsを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供する。

ア Sports教室開催事業

施設名	教室名	募集人数(名)
総合体育センター	親子体験セミナーほか 計5教室	95
西部体育センター	Enjoy!バドミントンほか 計6教室	95
高岡総合プール	初級スイムほか 計50教室	1,416
弓道場	弓道教室	40
漕艇場	ローイング教室ほか 計3事業	145
カヌー競技場	カヌー体験教室	20

(3) Sports施設活用推進事業

だれもがSportsと「つながる」楽しさを感じられる地域の交流拠点を目指し、今日的な課題である、中学校部活動の地域展開、さらに、パラ競技団体、市町村教育委員会や近隣小学校の活動支援等、Sportsに親しむことができる環境づくりに取り組む。

### Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営するSports施設の利用者への利便性を向上させるため、自動販売機を設置し、飲料等を提供する。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃Sportsに親しみのない県民がSports施設を知っていただくことで、今後のSports活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてSportsに親しむ契機になることを期待し、管理運営するSports施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与する。